

大泉生の進路決定モデル

— 中学校・高校6年間 進路決定プロセス —

高校3年生・2年生 「対策（作戦）を練り、実行する」

— 入試（大学・学部・学科）研究と実力養成 —

高校3年生・高校2年生

大学研究と実力養成・自己研鑽と進路実現

- ・目標とした仕事に就くためにはどうしたらいいのか。
- ・その仕事に就くために、どのような進学先（大学・学部・学科等）を選択するのか。
- ・どうすればその大学・学部・学科等に入学することができるのか。
- ・現在の学力とその大学との差を確認
- ・差を解消するための具体的・実践的な計画の立案とその実行

【対応策】

- ・「自問自答」の徹底
- ・担任、教科担任、部活顧問、進路キャリア部、先輩、講演会講師等の助言や指南
- ・授業、教科書、参考書等を活用した「基礎・基本の徹底」
- ・淡々とかつ情熱をもって実行する。そして、最後まで諦めない
- ・自分の行動を目に見える形で把握する（スケジュール帳、振り返りノートの作成等）

高校1年生・中学Ⅲ年生 「相手を知る」

— 将来像の具体化と大学・学部・学科理解と選択 —

高校1年生・中学Ⅲ年生

将来構想と進路意識・自己理解と科目選択

- ・自分は将来、どういうことをしたいのか、してきたいのか
- ・その行動（仕事）は、社会＝世界にとって、どういう意義があるのか
- ・その行動（仕事）を通じて社会＝世界にどう働きかけていくのか
- ・その働きかけによって、世界はどう変わっていくのか
- ・その行動（仕事）はどのような形態、規模、手法で行うものなのか
- ・その仕事と大学・学部・学科（日本以外の大学も含めて）との関係はどうか
- ・その大学に進学するにはどうしたらいいのか
- ・その仕事にはどのような資格が必要なのか

【対応策】

- ・書籍、雑誌、インターネット、映画等を活用した情報収集と将来構想
- ・授業を通じて「知る」、「調査する」、そして、「思考する」
- ・他者に相談する、それを踏まえて、「自分で深く考えてみる」
- ・担任、教科担任、部活顧問、進路キャリア部、先輩、講演会講師等の助言や指南

中学Ⅱ年生・Ⅰ年生 「己を知る」

— 自己理解と関連する職業研究—

中学Ⅱ年生・Ⅰ年生

学習習慣と自己理解・職業研究と職場体験

- ・自分の好きなことやしたいこと、特徴や特性は何か、将来何をしたいのか
- ・友人との会話や活動、読書経験等を通じて興味を持ったことは何か

【対応策】

- ・授業、総合的な学習の時間、職場体験、三人行事、OIZUMI AWARD 課題発掘セミナー等を通じて、自分の特徴・特性を分析、ないしは客観視する
- ・授業を大切に、「基礎・基本」を確立する、そのためには予習と復習を徹底する
- ・学習習慣と生活習慣を確立する、特に学習計画を自分で立てる力を身に付ける
- ・自分が興味あることを書き出してみる、それについて自分で深く考えてみる